

# 国文学研究資料館所蔵岩津資雄旧蔵書分類目録

海野圭介・岡崎真紀子・川上 一・神作研一・中西智子 編

\*キーワード

岩津資雄・目録・歌合・伊勢・斎藤拙堂

## 解題

国文学研究資料館所蔵岩津資雄旧蔵書（以下「岩津旧蔵書」）は、早稲田大学名誉教授岩津資雄先生（一九〇二～一九九二）旧蔵の古典籍からなる、当館特別コレクションの一である。

岩津先生は明治三五年（一九〇二）、三重県宇治山田市曾根町（現在の伊勢市）の生れ<sup>①</sup>。父海三郎氏は、幕末の儒者斎藤拙堂の外孫であり、先生はその曾孫にあたる。大正一〇年（一九二一）、第一早稲田高等学院文科に入学。以来、昭和四八年（一九七三）に早稲田大学教授を定年退官するまで、実に半世紀以上を「早稲田」のうちに過ごす。窪田空穂に作歌を学び、晩年には油彩画を嗜み画集を出版するなど、多才の人であったことも知られる。

先生は中世和歌文学、とりわけ「歌合」を専門とされ、その主著『歌合せの歌論史的研究』（早稲田大学出版部、一九六三）は、今なおおそ

必携の書と名高い。岩津旧蔵書は、こうした著書はもとより、先生の学問生活全体を支えた骨子ともいえるべき存在である。構成は江戸期の版本が主であり、古写本等の善本に恵まれているわけではないが、これは本蔵書が単なる趣味的コレクションではなく、もっぱら研究のために蒐集された実用の蔵書であったことを意味している。今日、我々が日常的に利用しているデータベースはもちろん、『新編国歌大観』の索引さえなかった時代、一人の和歌研究者がいかに知と接し、かつ体系化していたのか、本蔵書はそうした過程を留めるいわば「知の遺産」であり、一覽の価値なしとしない。

岩津旧蔵書は現在、文庫番号「90」が付与され、当館地下の貴重書庫に一括して配架されている<sup>②</sup>。全二四〇点（近代の和装本を含む）。状態は全体として概ね良好。たいていの書には「岩津／蔵書」「不言／乃舎」といった先生の蔵書印が捺される。蔵書印は全部で七種。末尾に原寸大で図版を掲げた。なお「不言（乃）舎」とは先生の号である。

本蔵書には古写本の類が殆ど存しない旨述べたが、とはいえ、なかには稀観本といふべき写本、新出の伝本、蒐書の傾向を示す書籍も複数認められる。以下これらを紹介し、岩津旧蔵書の特徴を述べることにする。

岩津旧蔵書の眼目は、まずもって歌書である。総数一三九点。全体の六割近くを占めており、**3群書類従**（歌合部、ただし叢書に分類）、**126歌合部類**等、歌合をはじめ和歌研究に必要な基礎資料を完備する。このうち第一に挙げるべきは、**127歌合判語摘要**（享保七年序、〔江戸中期〕写二卷、卷中欠）だろう。先生は生前、自らの蔵書に言及することを殆どしなかったが、本書は唯一その例外といえる写本である。前述『歌合せの歌論史的研究』にて口絵に採用されたほか、日本古典文学大系『歌合集』の月報でも再度の紹介に及んでいる。内容は六百番歌合以下、三〇部の歌合から四三九百分の判詞（判語）を抄出したもの。伝本はこの他、岡山大学附属図書館池田家文庫蔵本（三卷三冊）が知られるのみであり、稀書と呼ぶに相応しい。先生は本書につき「今日から見て、高度の研究文献とはいえない」と評する一方で「歌合せに対する好尚から判詞を後世大事にしていた、この古人の心に惹かれるものがある」とも述べる（口絵解題）。ご自身と同様、歌合の判詞を考究の対象とした先達として、本書とその編者に、特別の愛着と親近感を抱いていたものと思われる。次に注目すべきものとして中近世の歌合写本がある。中世においては、**139詩歌合**（文明十五年足利義尚主催）、**140〔慈照院殿御自歌合〕**、**141〔道堅自歌合等四種〕**等、室町期催行のものがみえ、これらは何れも『中世歌合伝本書目』（明治書院、一九九一）未載の新出伝本である。なかで

も141内「道堅自歌合」は江戸期堂上歌壇の重臣、武者小路実陰（一六六一〜一七三八）の筆（他も同筆か）。奥書によれば中院通茂蔵本を借り受け書写したもので、廷臣蔵書の具体的な書承関係が知られる好例である。近世期の歌合資料については、刊本も合わせると三〇点を超え、本蔵書内でも最大規模を誇る。近世歌合はそれ自体、未だ十全たる資料整備のなされていない分野であり、岩津旧蔵書の資料についても、すべて向後の研究利用が望まれるところであるが、なかでも特筆すべき資料を挙げる。

まず**160三十六番下蔭歌判詞**は、江戸後期の国学者橘守部主催・判の歌合。自筆。守部自筆の歌合写本は、慶応義塾大学附属研究所斯道文庫に複数蔵されているが、本書はこれらとは別の新出写本である。見開き頁の左側に判詞、右側に和歌を記すという特異な体裁を取っている点も注意される。**142〔勢州歌合二種〕**は、柵型列帖装の美本。「元禄八年十一月十一日歌合」、「十五番歌合」（年次未詳）という歌合二種を合写する。ともに伊勢外宮の神官によって催行された歌合で、上方地下の平間長雅判。**146〔小沢蘆庵判歌合三種〕**も学界未紹介の蘆庵判「十番歌合」（年次未詳）を含む歌合写本である。また**148・149享和二年歌合二本**は、近年、盛田帝子氏によって和歌史上の意義が見出された「大愚歌合」の未紹介伝本。**147武者小路家五首歌合**（澄月判）は、従来、大阪公立大学森文庫蔵本のみが知られていた稀本である。寛政四年（一七九二）以前成立であり、堂上・地下の歌人が一堂に会し、かつ地下歌人が加判した歌合としては大愚歌合（一八〇二）よりも古い。今後の考究が切に望まれる資

料である。<sup>(10)</sup>

定数歌については数点を数えるに過ぎないが、それらの中で189〔享保千首〕(享保十五年靈元院主催)は、享保十八年(一七三三)の写とみられ、成立時期に近い伝本として注意される。

歌学書は総数三九点。版本あるいは近代の和装本が多いが、一部に名家の旧蔵書も含まれる。64〔愚問賢注〕は伊勢外宮神官松木慶彦手撰の古写本で、天和三年(一六八三)二月に息子の周彦へと譲った旨、識語にみえる。また61悦目抄は、伊勢桑名の実業家竹内篁園旧蔵の江戸初期写本。その他、与謝野鉄幹・晶子旧蔵の65愚問賢注(版本)、前田善子「紅梅文庫」旧蔵の68和歌口伝覚書、江戸中期の漢学者、山本北山旧蔵の77〔溪雲問答〕等が見出される。

明治期の活版本では、103古今和歌集正義に触れておきたい。本書には赤ボールペンで膨大な量の書き込みがなされており、おそらくは岩津先生の講義用のメモと思われる。当時の学問のありようを残すとともに、先生の解釈や見解を窺える点、貴重な資料である。

最後に先生の出自に関わる蒐書をみたい。先生が三重県宇治山田の出身であることは冒頭で述べたが、生まれ故郷への思いは強かったよう蔵書内にもゆかりの書が多く見えている。<sup>(12)</sup> 既に言及したものは、64〔愚問賢注〕・142〔勢州歌合二種〕が伊勢外宮に関連。また109〔百人一首〕小倉の山ふみ、172二十番歌合(明治写)等はそれぞれ伊勢松阪の「本居家(鈴屋)」に関わる書。また、211聿修録を編した藤堂高兌<sup>たかきわ</sup>は伊勢津藩第一〇代藩主、157道のしをり歌あはせの編者津坂東陽も同じく津藩の儒

者である。版元等に「伊勢」ないし「三重」の字がみえるものも散見される。

就中、曾祖父齋藤拙堂の著作はかなりの量に及ぶ。40文話・続文話、41続文話、45・46拙堂文集、48〜52月瀨記勝、53拙堂紀行文詩、218・219士道要論、214・215海外異伝、224・225救荒事宜等、代表的な著作をほぼ網羅しており、同一書を複数冊所蔵している点も注目される。確認する限り、岩津先生のご著書等に、拙堂に言及したものは見当たらない。こうした祖先への執心も、本蔵書でのみ知られる先生の一面といつてよいだろう。

以上甚だ簡単ではあるが、岩津旧蔵書の特徴を述べた。やはり物を集めれば、そこには自ずと集めた者の思想が現われるものである。岩津先生の蔵書は、必ずしも稀書善本が多いというわけではない。が、改めてその書目を眺めるに、これが先生の研究や人生に根差した個性的なコレクションであることに疑いはない。

岩津旧蔵書の古典籍は現在、全点が「国書データベース」にて公開されている(明治以降の本は除く)。本目録とともに、是非、書影の参観を乞うものである。

注

(1) 先生の経歴は「岩津資雄年譜・著作目録」(『国文学研究』四九号、一九七三・二)による。

(2) 岩津蔵書が当館収蔵に至った経緯については不明な点が多い。受入印には「平成一六年(二〇〇四)」の年次が見え、この時期に登録・配架されたことになるが、先生の逝去から一〇年以上が経過しており、その間の具体的な動きは記録に残らない。恐らくは先生の門弟であった松野陽一元館長(一九三五〜二〇一八)が譲りうけ、当館で保管されていたものと想像される。

(3) 岩津資雄「歌合判語摘要」―歌合せの意義―(日本古典文学大系『歌合集』月報、岩波書店、一九六五・三)。

(4) 先生は本書を撰者不明とするが、序文に「一枝軒」の名がみえており、これが享保七年(一七二二)、一枝軒野村尚房(?〜一七二九)の編であることが、現在では明らかとなっている(神作研「一枝軒野村尚房の伝と文事」『近世和歌史の研究』角川学芸出版、二〇一三〔初出一九九六〕)。

(5) 京都大学附属図書館中院文庫蔵中院通勝筆本(中院/VI/一三三)がこれに該当する。

(6) 近世歌合研究の現状と課題については、加藤弓枝「集積される歌合―小沢蘆庵と歌書収集―」(『文学・語学』二三八号、二〇二三・八)、神作研「近世歌合の諸問題」(安井重雄編『歌合の本質と展開―中世・近世から近代へ―』、法蔵館、二〇二四)を参照。

(7) 『橘守部著作集 第十卷―未刊影印歌合七種』(慶応義塾大学附属研究所斯道文庫編、汲古書院、一九八二)。

(8) 近世期の伊勢歌壇については、神作研「元禄前後の伊勢歌壇」(注4著書〔初出二〇〇二〕)を参照。

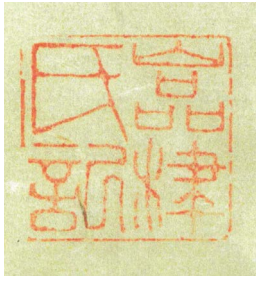
(9) 盛田帝子「享和二年「大愚歌合」一件」『近世雅文壇の研究―光格天皇と賀茂季鷹を中心に―』汲古書院、二〇一三〔初出一九九五〕。

(10) 参加者の一人、武者小路実純(徹山)が位記を返上した寛政四年以前。なお大愚歌合主催の広幡前秀(前基)も出詠している。

(11) 卷末の作者一覧に享保十八年時の年齢注記がある。なおこの作者一覧には、数人の実名に読み仮名が傍記されている。このうち三条西公福、烏丸光榮にはそれぞれ「キンネ」「ミツナカ」との訓みがあり、興味深い。

(12) 晩年には「わが「伊勢集」―作歌年代の逆順序に抄録―」(『文藝論叢』(文教女子短期大学文藝部)一八号、一九八二)という小歌集も発表されている。

(川上 一)



⑤「岩津／氏記」



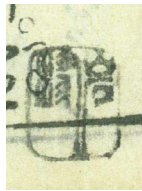
①「岩津／藏書」



⑥「岩／津」



②「岩津／藏書」



⑦「岩／津」



③「不言／乃舍」



④「不言／乃舍」

## 目録凡例

一、本目録は、国文学研究資料館所蔵岩津資雄旧蔵書の分類目録である。

### 〈収録範囲〉

一、岩津資雄先生の旧蔵書全二四〇点から成る（明治期以降に刊行された書目も含む）。

一、【国書の部】および【準漢籍の部】【漢籍の部】を立てた。

### 〈分類〉

一、国書の分類は、原則として『改訂内閣文庫国書分類目録』（国立公文書館内閣文庫、一九七四・七六）に依拠し、なお『日本古典籍分類表（試案）』（国文学研究資料館分類研究会編刊、二〇〇八）を参照して定めた。

一、準漢籍と漢籍の分類は、四庫分類に依拠した。

### 〈排列〉

一、国書に関する分類網目内の排列は、おおむね成立年代順（刊本しかないものは刊行年次順）に拠った。「〇」を付して、時代を区切ったり、同類の書をまとめて掲出したりしたところもある。

### 〈記載事項〉

一、紙幅の都合により、記述は棒目録（目録事項）を旨とし、特記すべき事項を適宜「＊」以下に示した。

一、目録事項は、通し番号・書名・巻数・編著者名等・刊行年・刊写者・書型・冊数・請求記号から成る。

一、著録者による推定事項には「（ ）」を付す。

一、文字は、原則として通行の字体に従った。

一、「＊」以下の「／」は改行を示す。

一、虫損等による判読不能箇所は□で示した。

一、明治期以降に刊行された書目に関しては、OPAC（国文学研究資料館図書・雑誌所蔵目録）に記載されているため、記述は簡潔にとどめた。

### 〈書名〉

一、書名は、原則として本文巻頭内題に拠る。ただし、内題のないものについては、文献の性格に応じて外題・目録題・序題・封面題などから適宜採り、その旨を（ ）内に注記した。

一、書名のないもの、また書名があっても内容に徴してそれが不適切と判断されるものには、「（ ）」を付して新たに書名を与えた。

一、外題を採る場合は、原題簽（刊本）または本文同筆書名（写本）に拠るのを原則とする。

一、冠称（角書）は（ ）内にくるんだ。

一、書名と異なる整理書名や統一書名等があるものについては、それらを適宜「＊」以下に掲出した。

### 〈その他の目録事項〉

一、巻数は、「一巻」の場合は表記を省略した。

一、編著者名は、最も通行するものをもって記載した。文献に応じて注釈者や画者等を記したものもある。

一、書写年は、明確なそれが不明の場合には、「江戸中期」写」の如く、推定年代を記した（刊年の推定記載もこれに準ずる）。

一、刊年は、可能な限り「刊・印・修」を用いて表記するように努めた。

「刊」は版木が刊刻された時点を、「印」は実際に印刷された時点を、「修」は版木に修訂が施された時点を、それぞれ示す。

一、刊行者は、原則として二肆までを採る。三肆以上の場合には「吉田四郎右衛門等三肆」の如く示した。ただし、封面・広告等によって主版元が推定できる場合はこの限りではない。

一、刊行者の所在地は、「皇都」「平安」等は「京」に、「江都」「東武」等は「江戸」に、「浪華」「摂陽」等は「大坂」にそれぞれ統一し、他はおおむね記載のままを採った。

一、文献に応じて、蔵版者を記載したものもある。

一、書型は、「特大」（特大本）、「大」（大本）、「半」（半紙本）、「中」（中本）、「小」（小本）、「特小」（特小本）、「栞」（栞型本）、「横」（横本）などと記し（以上、袋綴じ本）、これ以外の列帖装や卷子本、幅物については、それぞれ「帖」、「軸」、「幅」と表記した。

一、仮綴じのものは「仮」、合冊されているものは「合」を、それぞれ付した。

〈請求番号〉

一、岩津資雄旧蔵書には、「90」の文庫番号が付与されている。

〈\*以下の記述事項〉

一、「\*」以下には、合綴されている資料は細目、絵入、「列帖装」など

袋綴じ以外の装訂、「綴じ表紙」など紙表紙以外の表紙、奥書・識語、名家による書入・印記等々、有用と判断される情報を適宜記述した。

〈その他〉

一、末尾には「書名索引」を付して検索の便に備えた。作成は岡崎真紀子・中西智子が担当した。

一、文献調査に先立って、国文研の司書たちの編集にかかるデータを適宜参照・利用した。出納への協力も含めて、彼らの日頃の尽力がなければ、この目録は到底編纂し得なかつたことを改めて深く肝に銘じる。学術情報課の片岡真課長・和田洋一課長補佐・竹村寛子係長をはじめとするすべての司書の皆さまの厚情に感謝したい。

一、文献調査と目録本文の作成は、海野圭介・岡崎真紀子・川上一・神作研一・中西智子の五人で行い、なお川上と神作が分類・排列した上で全体を整理した。

目録目次

【国書の部】

I 総記

1 図書

(1) 蔵書目

2 叢書

II 神祇附国学

1 国学

III 文学

1 国文

(1) 総記

(2) 小説

①古物語 附擬古物語

②説話物語

③室町物語

④近世小説

(a) 仮名草子

(b) 浮世草子

(c) 読本

(d) 滑稽本

(e) 咄本

⑤明治小説

(3) 随筆

(4) 日記・紀行

(5) 文集

(6) 消息

2 漢文

(1) 総記

(2) 詩文評・作詩作文

(3) 総集

(4) 別集

(5) 日記・遊記

3 和歌

(1) 総記

(2) 歌論・作法

(3) 撰集

①勅撰集

②私撰集

(4) 家集

(5) 歌合・歌合和歌

4 連歌

(1) 連歌論・作法

5 俳諧

(1) 俳論・作法

(2) 撰集

(3) 俳文

6 狂歌

7 古代歌謡

(1) 朗詠・今様

IV 音楽・演劇

1 浄瑠璃

(1) 古浄瑠璃

(2) 金平歌舞伎

(3) 義太夫節

(4) 一中節

2 歌舞伎

(1) 狂言本

V 歴史

1 日本史

(1) 伝記

(2) 史料

①書簡

②外国関係

VI 地理

1 日本地誌





目録

【国書の部】

I 総記

1 図書

(1) 蔵書目

1 鉄研斎輜軒書目

斎藤拙堂著

〔明治〕写

大一冊

90  
|  
139

\*外題「輜軒書目」。

2 鈴屋所蔵品目録（本居宣長翁関係遺品）三重県松阪市編

〔昭和〕刊（三重松阪、松阪市）

B5判一冊

90  
|  
197

\*洋装。

2 叢書

3 群書類従

卷第一八三・一八九・一九九～二〇七・二〇九～二二二・二二五・二二六

塙保己一編

〔江戸後期〕刊

大二三冊

90  
|  
130

\*二〇〇・二二一・二二二八同本二冊アリ。細目「内大臣家歌合（元永元年十月）」「内大臣家歌合（元永二年七月）」「関

白内大臣家歌合（保安二年九月十二日兼日被下題）（二八三）、「若宮社歌合（建久二年三月三日）」「民部卿家歌合（建

久六年正月二十日）（二八九）、「遠島御歌合（嘉禎二年七月）」「河合社歌合（寛元元年十一月十七日）（一九九）、「院

御歌合（宝治二年）（二〇〇）、「影供歌合（建長三年九月十三夜）（二〇一上下）、「十五夜歌合（文永二年八月）」「龜

山殿五首御歌合（文永二年九月十三夜）（二〇二）、「撰政家月十首歌合（建治元年九月十三日）」「正応二年三十番歌

合」（二〇三）、「十五夜歌合（永仁五年八月十五日）」「歌合（永仁元年当座）」「新名所絵歌合（永仁三年）」「歌合（正

安四年六月十一日当座）」「仙洞五十番歌合（乾元二年四月二十九日）」「歌合（乾元二年五月四日）（二〇四）、「永福

門院歌合（嘉元三乙巳年正月四日／後二条院御在位）」「歌合（嘉元三年三月）」「外宮北御門歌合（元亨元年冬）」「新

玉津島社歌合〈貞治六年三月二十三日〉(二〇五)、「五百番歌合〈天授元年〉」(二〇六上下)、「内裏九十番御歌合〈応永十四年十一月二十七日〉」(二〇七)、「仙洞歌合〈宝徳二年十一月〉」(二〇七)、「按察使親長卿家歌合〈文明五年十一月七日〉」(武州江戸歌合〈文明六年六月十七日〉) (二〇九)、「文明九年七月七日七首歌合」(文明十年八月二日歌合)「文明十年九月尽歌合」(二一〇)、「將軍家歌合〈文明十四年六月十日〉」(將軍家歌合〈文明十四年閏七月〉)「殿中十五番御歌合」(三十三番歌合〈文亀三年六月十四日〉) (二一一)、「蜷川親孝家歌合」(十五夜三首歌合〈永祿六年八月〉)「秋十五番歌合〈永祿六年八月二十三日〉」(後陽成院御歌合〈文祿三年八月〉) (二一二)、「文安詩歌合」(詩歌合〈文明十四年九月二十八日〉)「詩歌合〈文明十五年正月十三日〉」(二二五)、「寛平菊合」(上東門院菊合和歌)「朱雀院女郎花合」(内裏歌合〈康保三年八月十五夜大盤所にて前裁合せたまふ〉)「東三条院瞿麦合」(後冷泉院根合)「郁芳門院根合」(備中守仲実朝臣女子根合歌〈康保二年五月五日〉)「円融院扇合」(堀河院艶書合)「正子内親王絵合〈永承五年四月二十六日〉」(小野宮右衛門督家歌合)「同家歌合」(二二六)。印記「葛廼家文庫」(千葉葛野)、「下総崎房／秋葉／孫兵衛／蔵書」「秋葉／義之／印」(以上、秋葉義之)、「岩津／蔵書」。

## II 神祇 附国学

### 1 国学

### 4 墨水遺稿

三卷 黒川春村著、黒川真道校訂 明治三二年刊(東京、吉川半七)

半三冊

90 | 188

\*和装活版。

## III 文学

### 1 国文

#### (1) 総記

### 5 桂林一枝

四〇号 菊池起礫・稲綺道秀編 明治一一一―一三年刊(東京、桂林舎)

中合四冊

90 | 235

\*和装活版。絵入。詩歌ノ同人誌。

(2) 小説

① 古物語 附擬古物語

6 竹取物語俚言解 二卷 井上文雄、佐佐木弘綱著 安政四年刊・明治二〇年印(東京、文苑堂) 大二冊 90 | 108

\* 外題「佐々木弘綱解／竹取物語俚言解乾」。竹川政柱序。自跋。下巻見返シニ出版案内ヲ付ス。印記「岩津／蔵書」。

7 [伊勢物語] 二卷 宝永二年刊・後印(京、磯田太良兵衛) 大二冊 90 | 107

\* 絵入。

8 (新／板) 伊勢物語 (外題) 二卷 下河辺拾水書・画 明和四年刊・通修(大坂、勝尾屋六兵衛) 大二冊 90 | 106

\* 絵入。樋口源兵衛刻。印記「岩津／蔵書」。

9 源氏物語評釈 存首上・首下・桐壺一(夕顔四・源氏物語語釈一・源氏物語余釈一) 萩原広道著 嘉永七年序刊(京、出雲寺文次郎等一二肆) 大八冊 90 | 109

\* 『源氏物語余釈』中ニ朱墨套印ノ箇所アリ。内題「校正訳注源氏物語評釈」「源氏物語語釈」「校正訳注源氏物語余釈」。

久貝正典序、自序。鹿鳴草舎蔵板。刊記二ハ「嘉永六年癸丑新刻」トアリ。印記「不言／乃舎」。

10 物語和歌索引稿 \* 洋装。 広島中世文芸研究会編 昭和三九年刊(広島大学文学部国語国文学研究室) B5判一冊 90 | 165

② 説話物語

11 撰集抄 九卷 伝西行著 慶安四年刊(京、村上平楽寺) 大合七冊 90 | 110

\* 内題下部ニ「西行記」。桑門無名子題跋。刊語「此書有広略二本共行于世矣然而舛謬／甚多今依広本聚数本加校讐以録諸梓／間有風葉之可拾猶是足為正矣」。印記「不言／乃舎」。

③ 室町物語

12 四十二のものあらしひ 山本明清著 文政二年跋刊(江戸、英平吉) 大一冊 90 | 111

\* 外題(原題簽)「四十二物諍考証」。岸本由豆流跋。末尾ニ「万笈堂英遵蔵板目錄」ヲ付ス。印記「岩津／蔵書」。

13 勸学院物語 二卷 昭和五年刊(東京、米山堂) 大二冊 90 | 216

\* 稀書複製会第六期第二四回（寛文九年刊本ノ複製）。

④ 近世小説

(a) 仮名草子

14 一休骸骨

一休宗純著

延宝三年刊・文化二年印（京、伊予屋佐右衛門）

大一冊

90 | 129

\* 繪入。柱刻題「がいこつ」。一休宗純奥（康正三年）。印記「岩津ノ藏書」。

(b) 浮世草子

15 好色一代男

存卷一・二 井原西鶴作

大正一五年刊（東京、愛鶴書院）

大二冊

90 | 222

\* 繪入。天和二年刊本（荒砥屋孫兵衛可心版）ノ複製。

16 日本永代蔵

六卷

井原西鶴作

昭和一二年刊（東京、山海堂出版部）

大二冊

90 | 221

\* 繪入。貞享五年刊本（大坂森田庄太郎等三肆版）ノ複製。

17 囃太平記（目録題）

五卷

八文字屋自笑・江島其蹟作 享保一七年刊（京、八文字屋八左衛門）

半合一冊

90 | 113

\* 繪入。自序。印記「岩津」ノ藏書。

18 〈忠見ノ兼盛〉彩色歌相撲（目録題）

存卷二「八文字其笑・八文字瑞笑」作〔延享四年〕刊〔京、八文字屋八左衛門〕

半一冊

90 | 112

\* 繪入。

(c) 読本

19 古今奇談繁野話

存卷一〜四 都賀庭鐘作、画者ハ桂眉仙カ〔明和三年〕刊〔大坂〕、柏原清右衛門・菊屋惣兵衛

半合二冊

90 | 114

\* 繪入。自序。版元ハ見返シノ記述ニ拠ル。統一書名「繁野話」。

20 雨月物語新釈

芳賀矢一編

大正五年刊・同一〇年印（東京、富山房）

半一冊

90 | 190

\* 和装活版。

21 〈長柄ノ長者〉繪本黄鳥墳（目録題） 存卷一〜三 栗杖亭鬼卯作、石田玉山画〔文化八年〕刊

半合一冊

90 | 115

\* 繪入。筑士鳳序（陰刻）。印記「岩津ノ藏書」。

(d) 滑稽本

- 22 宝合図説 文屋安雄編、田原米主画 昭和五年刊（東京、米山堂） 中一冊 90 | 215  
 \*稀書複製会第六期第一九回（天保元年奥刊本ノ複製）。外題「たから合の記」。印記「岩津ノ蔵書」。
- (e) 咄本
- 23 正直はなし（外題） 五巻 石川流舟作、菱川師宣画 大正一五年刊（東京、米山堂） 大五冊 90 | 209  
 \*稀書複製会第四期第一六回（元禄七年刊本ノ複製）。統一書名「正直咄大鑑」。印記「岩津ノ蔵書」。
- 24 〈軽ノ口〉わかゑびす（外題） 五巻 梅岸著 寛保二年序刊（京、和泉屋伝兵衛・錢屋七郎兵衛） 半五冊 90 | 122  
 \*絵入（一部手彩色）。自序。巻五末尾ニ出版広告ヲ付ス。
- ⑤ 明治小説
- 25 〈一読三嘆〉当世書生氣質 二〇回 坪内逍遙著、歌川国峰ほか画 明治一八年刊（東京、晚青堂） 半四冊 90 | 239  
 \*和装活版。絵入（口絵ハ多色摺）。第四冊末尾ニ「中央學術雜誌批評欄内の抜写」（写一五丁）ヲ付ス。印記「不言ノ乃舎」。
- 26 歌合 笑福亭福松口演・丸山平次郎速記 明治二七年刊（大坂、駸々堂・正英堂） 四六判一冊 90 | 195  
 \*洋装活版。印記「不言ノ乃舎」。
- (3) 随筆
- 27 鋸屑譚 二巻 谷川士清著 昭和五一年刊（谷川士清顕彰保存会） B5判一冊 90 | 232  
 \*洋装。謄写版。
- 28 鉄研余滴 甲集 四巻 斎藤拙堂著 嘉永七年刊（伊勢、本屋左兵衛等一二肆） 大四冊 90 | 132  
 \*自序。斎藤誠軒（拙堂長男）序。印記「桂窓」（小津桂窓）、「不言ノ乃舎」。
- (4) 日記・紀行
- 29 標註十六夜日記読本 佐佐木信綱編 明治二五年刊（東京、弦卷書肆） 半一冊 90 | 189
- 30 またぬ青葉 香川景樹著 〔天保三年〕刊・同六年印（京、河南儀兵衛等四肆） 大一冊 90 | 51  
 \*三宅意誠序。東鳩塾蔵版。末尾ニ「香川景樹大人著述」ヲ付ス。書袋アリ。

- 31 みくるまのあと（跋中題） 小出榮著 明治二四年刊（東京、吉川半七） 半一冊 90 | 185  
 \*和装活版。高崎正風序。書名ハ跋中ニヨル。皇后宮職印行。
- 32 みちのつと 小池道子著 明治二四年刊（東京、吉川半七） 半一冊 90 | 186  
 \*和装活版。高崎正風序。税所敦子序。自跋。書袋アリ。皇后宮職印行。
- (5) 文集
- 33 香川景樹大人熊谷直好大人ノ遺文 三卷 松波資之編 明治二二年刊（東京、吉川半七） 中三冊 90 | 160  
 \*熾仁親王題字。巻頭ニ「香川景樹小伝」（井上通泰）ヲ置ク。
- 34 香川景樹大人熊谷直好大人ノ遺文 三卷 松波資之編 明治二二年刊（東京、吉川半七） 中三冊 90 | 161  
 \*33ニ同版。
- (6) 消息
- 35 かりの行かひ（外題） 賀茂季鷹編 享和二二年刊（京、城戸市右衛門・林安五郎） 大一冊 90 | 124  
 \*自序。拜志茂樹跋。印記「不言ノ乃舍」。
- 36 月なみふみ合 二卷 片岡徳撰 文政七年刊（大坂、奈良屋長兵衛） 大二冊 90 | 100  
 \*外題（原題簽）「文あはせ」。自序。藤井高豊序。「松乃家藤井高尚大人著述目錄」「書林葛城宣英堂和書蔵板略書目」ヲ付ス。印記「不言ノ乃舍」。
- 37 月なみふみ合 二卷 片岡徳撰 〔文政七年〕刊・後印（大坂、伊丹屋善兵衛等一〇肆） 大二冊 90 | 101  
 \*36ニ同版（後印）。
- 2 漢文
- (1) 総記
- 38 梁洲会誌 四輯 浅野儀史著 昭和一〇一三三年刊（津、玄玄莊） 半四冊 90 | 238  
 \*印記「不言ノ乃舍」。

(2) 詩文評・作詩作文

39 文鏡秘府論 六卷 空海撰 明治三十七年刊(京、山城屋文政堂・藤井佐兵衛) 大三冊 90 | 128

\* 印記「不言／乃舍」。

40 文話・続文話 八卷・続八卷 斎藤拙堂著 文政一三年刊・天保六年跋刊(大坂、吉岡平助) 半四冊 90 | 141

\* 外題「拙堂文話・続文話」。正編ノ刊年ハ見返シ(「文政庚寅新鐫／古香書屋版」)ニ拠ル。自序。頼山陽序。

古賀紫溟序。続編自序。土井警牙跋。

41 続文話 存卷一～六 斎藤拙堂著 天保七年刊(不自欺斎) 半三冊 90 | 142

\* 40ノ続編ニ同版。印記「不言／乃舍」。

42 文語碎錦 四卷 荒木審士謬輯 天保一一年刊(明治) 印(伊勢、木村光綱) 半二冊 90 | 146

\* 刊年ハ見返シ(「天保庚子新鐫」)ニ拠ル。三重県蔵版。土井警牙序。自序。印記「広島猿楽町／書林上河真」。

43 十二月文人画詩(帙題) [江戸後期] 写 中一帖 90 | 152

\* 絵入(手彩色)。

(3) 総集

44 懷風藻新釈 枳清潭新釈、林古溪校字 昭和二年刊(東京、丙午出版社) 半一冊 90 | 202

\* 和装活版。

(4) 別集

45 拙堂文集 六卷 斎藤拙堂著、中内樸堂編 明治一四年刊(三重、豊住伊兵衛・大坂、豊住支店) 大六冊 90 | 143

\* 斎藤氏蔵版。藤堂高猷題。中内樸堂序。巻首ニ「拙堂先生小伝」「拙堂文集凡例」「拙堂文集目錄」ヲ置ク。長谷部円

祁跋。末尾ニ「三府諸県弘通書林」ヲ付ス。

46 拙堂文集 六卷 斎藤拙堂著、中内樸堂編 明治一四年刊(三重、豊住伊兵衛・大坂、豊住支店) 半六冊 90 | 144

\* 45ニ同版。

47 玉蘭集 前川研堂編 昭和一三年刊(東京、尙誠社) 半一冊 90 | 206



\*和装活版。書袋アリ。

(5) 日記・遊記

48 月瀬記勝 (外題) 一卷・附録一卷 斎藤拙堂著 嘉永四年序刊 大二冊 90 | 149

\*初印。絵入(淡彩摺)。看雲亭藏板。日野資愛題。自序。大窪詩仏序。中内樸堂序。宮崎青谷跋。野村藤陰跋。

小谷敏跋。龍維孝跋。斎藤誠軒跋。愚仏・高田十郎ノ識語アリ。坤卷ハ附録ナリ。

49 月瀬記勝 (外題) 一卷・附録一卷 斎藤拙堂著 嘉永四年序刊・明治一四年印 (三重、豊住伊兵衛・篠田伊十郎) 大二冊 90 | 148

\*48二同版。印記「不言ノ乃舎」。

50 月瀬記勝 (外題) 一卷・附録一卷 斎藤拙堂著 嘉永四年序刊・明治一四年印 (三重、豊住伊兵衛・篠田伊十郎) 大二冊 90 | 147

\*48二同版。

51 月瀬記勝 (外題) 一卷・附録一卷 斎藤拙堂著 嘉永四年序刊・(明治三〇年)印 (三重、関西図書株式会社) 大二冊 90 | 151

\*48二同版。印記「岩津ノ蔵書」。

52 月瀬記勝 (外題) 一卷・附録一卷 斎藤拙堂著 嘉永四年序刊・明治三〇年印 (三重、関西図書株式会社) 大二冊 90 | 150

\*48二同版。

53 拙堂紀行文詩 八卷 斎藤拙堂著、中内樸堂編 明治二五年刊・昭和六年印 (津、拙堂会) 半二冊 90 | 205

\*印記「岩津ノ蔵書」。

54 遊香落潤記 鎌田梁洲著、浅野松洞補 昭和一二年刊 (津、玄玄荘) 半一冊 90 | 187

\*和装活版。書袋アリ。

3 和歌

(1) 総記

55 [歌合時代類聚目録等目録四種] 昭和八年写(村松鐘一) 大一冊 90 | 53

\*「歌合時代類聚目録」「御集類目録」「家集類目録」「千首百首類目録」カラ成ル。書写奥書「歌合時代類聚目録 一卷

／目白ノ徳川邸ニテ平瀬本源氏物語校合ノ時／岸廻舎ヨリ拝借／昭和八年八月十三日書写畢ル／村松鐘一」。昭和七年本奥書。岸廻舎〔山岸徳平〕識語。宮内庁書陵部蔵本（一五〇・五二二）ノ影写ノ写シ。

56 近世歌人略系

広田常善著 明治三五年刊（京都、山本彦兵衛）

一冊 90 | 166

\*書袋アリ。

57 歌林

第一編一〜五号 魚住長胤著 明治二五〜二六年刊（東京、稽照館）

半合一冊 90 | 236

\*和装活版。

58 日本歌学全書

一二編 佐佐木弘綱・佐佐木信綱編 明治三三〜三四年刊（東京、博文館）

中一二冊 90 | 156

\*和装活版。大和綴（特製）。

(2) 歌論・作法

59 清輔雜談集

二卷 貞享二年刊（大坂、天王寺屋長右衛門）

半四冊 90 | 13

\*印記「不言／乃舎」。

60 古来風跡抄

二卷 藤原俊成撰 元禄三年刊（京、小崎七左衛門・京、田中市左衛門）

半合一冊 90 | 1

61 悦目抄

藤原基俊假託 〔江戸初期〕写

大二冊 90 | 2

\*外題「基俊秘書」。奥書「本云／文保元年八月二十二日書之／同九年一日写朱点之」「此本押紙云／此秘書者基俊作也

非実子者不相伝云々然而／彼君依無子息相伝俊成卿／彼卿又付属息女藤原氏敢不聽他見深／收箱庭不出闕外尤可秘

云々／年月日／僧都定雲／在判」。印記「篁園文庫」（竹内篁園）、「不言／乃舎」他。

62 為兼卿和歌抄

京極為兼著 昭和二四年刊（東京、宮内庁図書寮）

一冊・解題一冊 90 | 223

\*宮内庁図書寮蔵本ノ複製。印記「不言／乃舎」。

63 和歌灌頂次第秘密抄

藤原家隆假託 天和元年写（佐々木左近宗幸）

大一冊 90 | 16

\*奥書①「応永十一年甲申三月三日／藤原朝臣在判」（宮内庁書陵部蔵本〈五〇三・三三九〉ニ有スル奥書）、②「永享

二歳庚戌九月九日以御子左殿御自筆御本書写云々／金剛仏子胤弘謹贍」、③「此抄菩薩山寺中尾以本書写訖不可有他

見也／永享五年癸丑七月一日書之／仏子有俊謹写之、④「天和元乙卯正月吉祥日／佐々木左近宗幸写之」。第二類本  
〔三輪正胤ノ分類ニ拠ル〕。

64〔愚問賢注〕

二条良基問、頓阿答〔室町後期〕写

半一冊 90 | 3

\*外題「倭歌之道」。本文ハ義詮書状「三月十日／三位殿／義一」マデ。識語「慶彦上／天和三年二月十日／周彦殿」(周彦ハ松木慶彦男郷彦ノ初名)。印記「神官／度会／慶彦」(松木慶彦)、「不言／乃舍」。

65 愚問賢注

二条良基問、頓阿答 寛永一九年刊(京、武村市兵衛)

大一冊 90 | 4

\*外題「愚問賢注(和歌道)しるへ古板(全)〔後補書キ題簽〕、「愚問賢注(与謝野寛ノ藏)〔後補覆表紙ノ書キ題簽〕。印記「村岡／良弼」(法制史・地誌学者ノ村岡良弼)、「采華／莊藏」(与謝野鉄幹)、「晶子」(与謝野晶子)。

66 歌道秘書蔵録

文化二二年写(藤原政規)

大仮一冊 90 | 17

\*外題「姉小路殿 てにおは」。統一書名「姉小路式」。奥書「文化十二年乙亥／七月十日 藤原政規写之(印)」。朱墨ノ書入アリ。印記「不言／乃舍」。

67〔歌論書諸抄〕

〔江戸後期〕写

大一冊 90 | 14

\*外題「古今切紙口伝 完」。「古今切紙口伝」「飛鳥井家之説」(文明一八年陽月五日宋世序)、「古今和歌集一卷」(天正二年臘月二十八日祐友跋)カラ成ル。頭注・朱書アリ・付箋アリ。印記「岩津／藏書」。

68 和歌口伝覚書(奥中題)

文久元年写(吐月)

大一冊 90 | 18

\*統一書名「和歌秘伝書」。本奥書「和歌口伝覚書(二十五葉) 古今集三箇源氏物ノ語三箇伊勢物語七箇徒然草三箇脈等ノ之秘訣不殘一卷季吟老人相承之旨今ノ与福田氏五珪子明口授畢令写之ノ延享四舍丁卯年十一月十一日ノ負月居士松琵琶ノ書写奥書「文久元辛酉年七月日ノ松蔭精舎 吐月写(印)」。印記「紅梅ノ文庫」(前田善子)、「不言ノ乃舍」。

69〔題心持略用〕(尾題) 三卷

宝曆一一年写(藤昌臣)

半一冊 90 | 15

\*統一書名「歌学書」。奥書「宝曆十一年巳三月残之以本写之也七日一校合ノ墨付二十三枚 松山円応門人ノ藤昌臣(花押)」。本文ハ、題詠ニ関シテ記ス冒頭部分ト「題心持略用」序破急三卷カラ成ル。冒頭ノ記述ハ「竹園抄」「題存知事」ニ内容ガ近い。

70 耳底記 三卷 細川幽齋述、烏丸光広記〔江戸前期〕刊・後印〔京〕、林和泉掾 半三冊 90 | 6

\*印記「不言／乃舍」。

71 幽齋翁聞書 二卷 細川幽齋述、佐方宗佐記 享保二年刊〔京、万屋作右衛門〕 半四冊 90 | 5

\*統一書名「細川幽齋聞書」。佐方宗佐序。有賀長伯跋。印記「西莊文庫」（小津桂窓）、「不言／乃舍」。

72 春樹頭秘増抄 細川幽齋著、有賀長伯編 寛政七年写（殿村茂乘） 大一冊 90 | 7

\*金襴表紙。料紙ハ雲母引キ。奥書「右一冊者世々相承之春／樹頭秘抄之増抄也以敬／齋長伯師伝之口訣無奈／蘊因雖

深秘函底依崇／信此道之篤附与之訖如／誓盟全不可有他見漏／脱者也／居貞齋長収（朱文方印「長収／之印」）（花押）

／寛政七年卯十一月良辰／殿村茂乘詞契」。印記「不言／乃舍」。

73 和歌八重垣 存卷一 有賀長伯著 〔元禄一三年〕刊 小一冊 90 | 31

\*自序。印記「岩津」「岩津／藏書」。

74 和歌古語深秘抄（目錄題） 一〇卷 惠藤一雄編 元禄一五年刊・後印〔京、出雲寺和泉掾・江戸、同店〕 半一〇冊 90 | 12

\*自序。歌論歌学書一九部所収。細目「秘藏抄」「新撰髓腦」「莫伝抄」「和歌肝要」「後鳥羽院御口伝」「定家和歌式（近

代秀歌）」「正風体抄」「和歌庭訓（毎月抄）」「家隆口伝」「近來風体抄」「瑩玉集」「簸河上」「八雲口伝」「よるのつる」

「耕雲口伝」「桂明抄」「八雲一言記」「和歌二言集」「和歌用意」。印記「不言／乃舍」。

75 和歌古語深秘抄（目錄題） 一〇卷 惠藤一雄編 元禄一五年刊〔京、出雲寺和泉掾〕 半合二冊 90 | 11

\*74 二同版。印記「渡辺千秋藏書」（渡辺千秋）、「不言／乃舍」。

76 席話抄 三卷 稲葉正倚著 〔江戸後期〕写 大一冊 90 | 21

\*外題「和歌席話抄」。宝永五年自奥。

77 〔溪雲問答〕 中院通茂述、松井幸隆記 〔江戸後期〕写 半一冊 90 | 8

\*内題「中院内府通茂公口伝 幸隆聞書」。本文系統ハ享保二年ノ奥書ヲ持ツ所謂略本系統ニ属スルガ、奥書ニ「連阿

（連阿）」ノ署名ヲ欠ク。奥書「右一冊者六窓軒幸隆依為／中院家門人多年秘談記之／書也本書之雜談等令省／略写之

畢穴賢／享保二年十月」。寄合書。印記「山本／文庫」（山本北山）。

- 78 和歌伊勢海 三卷 享保五年刊（江戸出店・京都本家、和泉掾出雲寺元丘） 半三冊 90 | 30  
\* 絵入。香川宣阿序。
- 79 増補和歌作法 二卷 余裕編 明和九年刊（京、唐本屋吉左衛門） 大合一冊 90 | 28  
\* 統一書名「和歌作法」。印記「不言／乃舍」。
- 80 歌袋（目録題） 六卷 富士谷御杖著 〔寛政五年〕刊（京、葛西市郎兵衛・同嘉兵衛） 半六冊 90 | 10  
\* 自序。末尾ニ葛西市郎兵衛・同嘉兵衛ノ「北辺大人著書」ヲ付ス。
- 81 歌袋（目録題） 六卷 富士谷御杖著 〔寛政五年〕刊・〔明治〕印（京、永田長左衛門） 半六冊 90 | 9  
\* 80ノ明治印本。
- 82 和歌為隣抄 二卷 澄月著 寛政五年序、寛政九年刊（京、野田治兵衛等三肆） 大二冊 90 | 23  
\* 芝山持豊序。慈延序。西山拙斎跋。垂雲軒藏版。印記「不言／乃舍」。
- 83 歌論往復書 村田春海・稲掛大平著 〔江戸後期〕写 大一冊 90 | 25  
\* 細目「稲掛大平かもとおくれる書」（贈稲掛大平書）、「こたへ 稲掛大平」（答村田春海書）、「大平かかへりことに又こたへたる書」（再贈稲掛大平書）。朱書アリ。識語「寛政十一年 三月寄 八月復 十月重寄」。印記「不言／乃舍」。
- 84 さき草 藤井高尚著 文化二年刊（大坂、河内屋儀助等三肆） 大一冊 90 | 20  
\* 加藤千蔭序、本居大平序。印記「岩津／藏書」。
- 85 新学異見 香川景樹著 文化一二年刊・天保六年印（京、河南儀兵衛等四肆） 大一冊 90 | 26  
\* 東塙塾藏版。熊谷直好序。見返シノ「水玉堂叢行」ハ原刊本ノ版元（葛西市郎兵衛）ヲ示シタモノ。末尾ニ河南儀兵衛ノ「香川景樹大人著述」ヲ付ス。印記「椿園」（佐藤信淵）。
- 86 翻刻千鳥のあと 中臣親満原著、久曾神昇監修、鈴木進編 昭和四八年刊（浜松、騷楓野屋） B5判一冊 90 | 230  
\* 安政三年刊本ノ翻印。
- 87 寄居歌談 存卷一～四 近藤芳樹著 弘化二年刊（安芸広島、井筒屋忠八郎） 半四冊 90 | 19  
\* 求古斎藏板。末尾ニ「寄居子庵大人著述目録」ヲ付ス。芸州広島山口宗五郎刻。印記「不言／乃舍」。

- 88 歌林要路 内山真弓編 [幕末] 写 大一冊 90 | 22
- \*『歌学提要』ノ刊写本ナリ。但シ全一八章ノ内「古歌扱」ノ途中マデノ一五章存。内山真弓序。
- 89 詠歌眼目 西田直養編 嘉永元年刊(大坂、今津屋平七) 大一冊 90 | 27
- \*萩原広道序。榎子跋。篠迺舎藏板(「出石屋藏」印)。
- 90 歌格類選(外題) 正統各二卷 半井梧庵著 嘉永五年刊(正) 同六年刊(続)・後合印(京、井上治兵衛・林芳兵衛) 大四冊 90 | 24
- \*見返シニ「京都書肆 合書堂梓」。(正) 大橋長広序。長沢伴雄序。自序。香川景恒跋。(続) 山田泰平序。印記「不言ノ乃舎」。
- 91 歌話集 [明治] 刊 半一冊 90 | 237
- \*和装活版。細目「歌評論弁」(本居太平評・藤本久葛論・富樫広蔭弁)、「西行上人談抄」「九十三番歌結」(菅沼斐雄判)、「歌話」(黒川真道)。印記「岩津ノ蔵書」。
- 92 歌学会歌範評論 海上胤平述 明治二六年刊(東京、一本社) 半一冊 90 | 159
- \*和装活版。印記「不言ノ乃舎」。
- 93 大八洲学会詠歌邪正論 三栗屋主人著 明治二六年刊(東京、一本社) 半一冊 90 | 162
- \*和装活版。印記「不言ノ乃舎」。
- 94 大八洲学会詠歌邪正論 三栗屋主人著 明治二六年刊(東京、一本社) 半一冊 90 | 163
- \*93 二同版。印記「不言ノ乃舎」。
- 95 新撰詠歌法 武島又次郎著 明治三二年刊(東京、明治書院) 半一冊 90 | 164
- \*和装活版。
- 96 歌会の作法 大原重明編 昭和二年刊(東京、郢曲会) 半一冊 90 | 169
- \*和装活版。大和綴。
- 97 長歌軌範(国文)(外題) 三卷 礮稻綺道秀著 昭和五年刊・同八年印(東京、鈴木正美堂) 半三冊 90 | 167

(3) 撰集

\*和装活版。自序。五弓安二郎序。印記「岩津／蔵書」。

① 勅撰集

98 八代集抄 (外題) 一四〇卷 北村季吟注 天和二年刊・文政二年修・後印 (大坂、河内屋仁助等二肆) 半五〇冊 90 | 32

\*印記「不言／乃舍」。

99 古今和歌集 二〇卷 紀貫之等奉勅撰 (江戸前期) 刊 (江戸、松会) 大二冊 90 | 41

\*印記「岩津／蔵書」。

100 古今和歌集 二〇卷 紀貫之等奉勅撰 (江戸前期) 刊・〔昭和〕印 (大坂、柳原書店) 大二冊 90 | 220

\*桜園書院蔵版。書袋アリ。

101 顯註密勘 (外題) 二〇卷 顯昭注・藤原定家補 明曆三年刊 (京、和泉掾林時元) 大八冊 90 | 34

\*早印ノ上本ナリ。内題「古今秘註抄」。印記「阿波国文庫」(徳島藩蜂須賀家)、「不言／乃舍」。

102 顯註密勘 (外題) 二〇卷 顯昭注・藤原定家補 (明曆三年) 刊・元禄一五年印 (京、出雲寺和泉掾) 大三冊 90 | 33

\*内題「古今秘註抄」。印記「不言／乃舍」。

103 古今和歌集正義 二〇卷・総論一卷・序一卷 紀貫之等奉勅撰、香川景樹注 明治二八年刊 (大坂、積善館) A5判四冊 90 | 229

\*洋装活版。大和綴。岩津資雄書入。帙アリ。

104 古今和歌集新釈 紀貫之等奉勅撰、藤井高尚注 明治四三、四四年刊 (東京、歌書刊行会) 半四冊 90 | 228

\*和装活版。卷首二「藤井高尚伝」(井上通泰稿)、卷末二「藤井高尚年譜」(井上通泰編)ヲ付ス。印記「不言乃舍」。

105 玉葉和歌集 二〇卷 京極為兼奉勅撰 (江戸前期) 刊 (刊記欠) 中一冊 90 | 42

106 風雅和歌集 二〇卷 光厳院親撰 (江戸前期) 刊 (刊記欠) 中一冊 90 | 43

\*印記「岩津／蔵書」。

② 私撰集

- 107 万葉和歌集校異(外題) 二〇卷 橋本経亮・山田以文校 文化二年刊(京、出雲寺和泉掾・出雲寺文治郎) 大二〇冊 90 | 40  
\*印記「不言/乃舍」。
- 108 自讃歌註 二卷 宗祇注 寛永一三年刊(京、中野氏道也) 大二冊 90 | 35  
\*印記「不言/乃舍」。
- 109 〈百人/一首〉小倉の山ふみ(外題) 中津元義著 享和三年刊(伊勢松阪、柏屋兵助等三肆) 大一冊 90 | 39  
\*序題「をくらの山ふみ」。本居春庭序。自跋。印記「岩津/藏書」。
- 110 新編伊勢名所拾遺集 二卷 龍貞玄編 延宝九年刊(京、中野宗左衛門) 大四冊 90 | 45
- 111 近葉菅根集(外題) 一〇卷 清水浜臣撰 文化一二年刊(京、植村藤右衛門・江戸、英平吉・須原屋伊八) 半六冊 90 | 29  
\*巨勢利和序。藤原忠興讚。木村定良跋。朱書アリ。印記「岩津/藏書」。
- 112 津島神社献詠集 第十一・十二輯 津島神社献詠会編 明治三一・三二年刊(愛知、津島神社献詠会) 半二冊 90 | 174  
\*和装活版。大和綴。
- 113 国歌評釈 三卷 武島又次郎著 明治三三年刊(東京、明治書院) 半三冊 90 | 158  
\*和装活版。
- (4) 家集
- 114 評釈業平全集 飯田季治編 明治四〇年刊・大正二年印(東京、如水堂書店) 菊判一冊 90 | 157  
\*洋装活版。印記「不言/乃舍」。
- 115 草庵和歌集蒙求諺解 存卷一―一五、続卷一―五 頓阿詠、香川宣阿注・香川景新訂正 享保八年刊(大坂、葛城長兵衛等四肆) 半合一冊 90 | 36  
\*料紙ハ薄様。印記「岩津/藏書」。
- 116 草庵和歌集蒙求諺解 存卷一・二 頓阿詠、香川宣阿注・香川景新訂正 [江戸後期]写 大二冊 90 | 37  
\*香川宣阿序。識語「岡崎氏/于時天保八年/孟夏発兌」。



- 117 鈴屋集（外題） 九卷 本居宣長詠、本居春庭・本居大平編 享和三年跋刊（江戸、須原屋茂兵衛等三肆） 大九冊 90 | 99  
 \*内題「鈴屋歌集」。本居春庭序。本居大平跋。須受能耶藏板。取り合ワセ本。
- 118 石上稿 本居宣長著 昭和四五年刊（本居宣長自筆稿本刊行会） 大一冊 90 | 224  
 \*和装。安反正敏藏ノ宣長自筆「石上稿詠稿十七・十八」ノ複製。
- 119 六帖詠草（外題） 六卷 小沢蘆庵詠 文化八年刊（京、吉田四郎右衛門） 大七冊 90 | 50  
 \*初印。印記「和学講談所」「和学講／談所印」「不言／乃舎」。
- 120 浦のしほ貝 三卷 熊谷直好詠 弘化二年序刊（大坂、伊予屋善兵衛等五肆） 大三冊 90 | 47  
 \*夢華園藏版。三井宗之序。
- 121 浦のしほ貝 三卷 熊谷直好詠 〔幕末〕写 大二冊 90 | 46  
 \*刊写本ナリ。縦細本。三井宗之序。
- 122 心月詞花帖（扉題） 二卷 高橋残夢詠 弘化二年刊（大坂、河内屋記一兵衛） 大二冊 90 | 49  
 \*初印。熊彦（高橋残夢男）藏版。平重信序。見返シニ「清足大人六帖題詠草／心月詞花帖／心月洞（心月洞印）朱文方印」トアリ。
- 
- 123 〈東京／大家〉 十四家集評論 海上胤平編 明治一七年刊（東京、杉江欽曹） 中二冊 90 | 170  
 \*和装活版。自序。
- 124 〈東京／大家〉 十四家集評論弁 存春之部 鈴木弘恭述 明治一八年刊（東京、吉川半七） 半一冊 90 | 171  
 \*和装活版。自序。
- 125 冬道翁歌集 二卷 間島冬道著、間島弟彦編 明治四三年刊（東京、吉川弘文館） 大二冊 90 | 175  
 \*和装石版。高崎正風序。
- (5) 歌合・歌合和歌
- 126 歌合部類（外題） 三六卷 〔江戸前期〕刊・〔江戸後期〕印（大坂、河内屋源七郎等八肆） 大一〇冊 90 | 54

\* 細目「内裏歌合（天徳四年三月晦日／於清涼殿有此事）」「近江御息所歌合」「若狭守通宗朝臣女子達歌合／或経平大

式家歌合（応徳三年三月十九日／於七条亭）」「高陽院七首歌合（寛治八年）」「中宮亮重家朝臣家歌合（永万二年）」「住

吉社歌合（嘉応二年十月九日）」「建春門院北面歌合（嘉応二年十月十六日）」「広田社歌合（承安二年十二月八日／道

因入道勸進之）」「三井寺新羅社歌合（承安三年八月十五夜）」「別雷社歌合（治承二年）」「右大臣家歌合（九条殿下

兼美／治承三年十月十八日）」「時代不同歌合」「百番自歌合」（藤原良経）、「御室撰歌合（正治二年三月五日当座）」「新

宮撰歌合（建仁元年三月二十九日／作者隱名 褒貶）」「撰歌合 建仁元年十五夜歌合和歌所」「水無瀬殿恋十五首

合（建仁二年九月十三夜）」「石清水若宮歌合（寛喜四年三月二十五日）」「仙洞歌合建暦三年閏九月十九日）」「建保二

年歌合 八月十六日（十五首乱歌合）、「光明峯寺入道撰政家歌合（貞永元年七月）」「歌合（貞永元年八月十五夜）」（光

明峯寺入道撰政家名所月歌合）、「日吉社歌合（嘉禎元年十二月廿四日奉納之）」（日吉社歌合嘉禎元年）、「遠鳥御歌合

（後鳥羽院 嘉禎二年七月）」「撰五十首歌合」（定家隆両卿撰歌合）、「宝治元年百三十番歌合」（百三十番歌合）、「伊

勢新名所絵歌合」（新名所絵歌合）、「外宮北御門歌合（元亨元年冬）」「五十四番詩歌合」「新玉津島社歌合（貞治六年

三月廿三日）」「歌合 内裏（康正元年十二月廿七日）」（内裏歌合康正元年）、「親長卿家歌合（文明五年十一月七日）」

「七夕歌合（文明九年七月七日）」「文亀三年御歌合」（文亀三年歌合）、「三十番歌合（霜月十五日）」（将軍家三十番歌

合）、「秋十五番歌合」（永祿六年十五番歌合）。印記「岩津／蔵書」。

### 127 歌合判語摘要

二卷（欠巻中）〔野村尚房〕編 〔江戸中期〕写

大二冊 90-155

\* 野村尚房序（享保七年）。序題「歌合判語摘要鈔」。六百番歌合・千五百番歌合（巻上）、石清水若宮歌合カラ秋十五

番歌合マデ（巻下）、全部デ一九部ノ歌合カラ三三四首ノ判詞ヲ抜書シタモノ（三巻三冊本ノ岡山大学附属図書館池

田家文庫蔵本ハ三〇部四三九首ノ歌合判詞ヲ収載スル）。印記「山脇／貞尚」「不言／乃舎」「岩津／蔵書」。岩津資雄

『歌合の歌論史研究』口絵ニ書影ヲ掲載。

### 128 〈真蹟／臨本〉三種歌合（外題）三巻

享和二年刊（京、竹苞楼・瑤芳堂）

大一冊 90-56

\* 細目「範永宅歌合」（忠家卿書）、「源順馬名合」（俊忠卿書）、「住吉歌合」（西行法師書）。印記「不言／乃舎」。

- 129 歌絵合 藤原延子主催 (江戸中期) 写(林亀瑞) 大一冊 90 | 57
- \*大和綴。統一書名「正子内親王絵合」。永承五年成。書写奥書「西行法師の手跡にて写し侍る也」(墨書)、「一本以朱校之」(朱書アリ)、「一本為家卿自筆ノ書を以校合せる由ノ奥書にみえたり此から藍を以これをわ/かつ」(藍筆、読点・訓点朱書アリ)、「愚考雌黄を以これをしるし侍りぬ/宜橋「林氏」(朱印)」「雌黄筆、読点・訓点朱書アリ」。
- 130 堀河院艶書合・詞花懸露集 三卷 堀河院主催、藤原公実等詠 寛文元年刊(京、田中文内) 半三冊 90 | 60
- \*絵入。
- 131 宮河歌合続三十六番 西行詠、藤原定家判 (江戸中期) 刊・後印(大坂、塩屋長兵衛) 半一冊 90 | 63
- \*外題(原題簽)「宮川歌合」。塩屋長兵衛ノ出版書目ヲ付ス。印記「中村氏ノ図書記」(中村敬宇)、「巖松堂古典部波多野扱斯書」、「岩津ノ藏書」。
- 132 左大将家百首歌合(扉)二〇卷 藤原良経主催、藤原俊成判 承応元年刊(京、村上平樂寺) 大二冊 90 | 62
- \*外題「六百番歌合」(後書)。見返シニ「六条有藤卿書入本ノ元名雅共又有慶 権中納言正二位ノ享保十四・九・一四麁五十八才」ノ貼紙アリ。墨・朱書アリ。印記「不言ノ乃舎」。「岩津ノ藏書」。
- 133 左大将家百首歌合(扉)二〇卷 藤原良経主催、藤原俊成判 (承応元年) 刊・後印(大坂、河内屋和助等二肆) 大一冊 90 | 61
- \*132ニ同版。外題(原題簽)「六百番歌合」。墨・朱書アリ。印記「不言ノ乃舎」。「岩津ノ藏書」。
- 134 千五百番歌合 二〇卷 後鳥羽院主催、藤原忠良等判 (江戸中期) 刊(京、吉田四郎右衛門) 大一〇冊 90 | 58
- \*印記「巖松堂古典部波多野扱斯書」。「不言ノ乃舎」。
- 135 千五百番歌合 二〇卷 後鳥羽院主催、藤原忠良等判 (江戸中期) 刊(京、吉田四郎右衛門) 大一〇冊 90 | 59
- \*134ニ同版。印記「不言ノ乃舎」。
- 136 水無瀬殿恋十五首歌合 後鳥羽院主催、藤原俊成判 大一冊 90 | 234
- \*伝足利義昭筆本(早稲田大学蔵)ノ複製(電子複写)。和装仕立て。
- 137 新名所歌合 大中臣貞忠等詠、二条為世判 明治二七年写 半一冊 90 | 65

\* 統一書名「伊勢新名所絵歌合」。包背装。朱書アリ。存四〇番〜八〇番。卷末ニ烏丸光広極メ、古筆了佐極メノ写シアリ。

表紙右側ニ識語「明治二十七年松垣貞吉所持絵巻物ノ内より／写取畢」、卷末識語「歌合絵巻奥書者烏丸光広卿と相見之申候／十月廿六日 西院荻薦」トアリ。印記「不言／乃舍」。

138 五十番歌合

二条良基主催、冷泉為秀・二条良基判〔江戸初期〕写

大一帖 90 | 67

\* 統一書名「年中行事歌合」。列帖装。紺地金泥下絵表紙。烏ノ子紙。印記「玖侶社記」〔黒崎貞枝〕。

139 詩歌合

足利義尚主催、衆議判〔江戸前期〕写

枳一帖 90 | 64

\* 列帖装。外題「六十番詩歌合」。文明一五年正月開催。

140 〔慈照院殿御自歌合〕

足利義政詠、飛鳥井雅親判〔江戸前期〕写

大一冊 90 | 66

\* 内題「歌合」。印記「不言／乃舍」。

141 〔道堅自歌合等四種〕

岩山道堅詠、三条西実隆判 貞享三年写〔武者小路実陰〕

聖護院道澄詠、三条西実枝点〔貞享頃〕写〔武者小路実陰カ〕

正親町天皇等詠、三条西実枝点〔貞享頃〕写〔武者小路実陰カ〕

大合一冊 90 | 68

\* 国文研整理書名「道澄百首」。後補覆表紙。原表紙ハ本文共紙。細目①外題「哥合 道賢法師自歌／判詞逍遙院」。内題「哥合 道堅法師哥也」。二五番。岩山道堅詠、三条西実隆判。跋者ノ「正六位上凡河内俊恒」ハ実隆ト思シイ。本奥書「右

一冊道堅法師自哥合也件本／親王御方かし出書写畢彼本／後柏原院御勅筆也未遂一校者也／時に永禄十二曆夏六月上

八日／正五位下行左近衛權少将源道勝。校合奥書「一校了」〔朱書〕ヲ挟ンデ書写奥書「右借請中院通茂卿本書

之／貞享元年五月三日 実陰」アリ。②外題「聖護院道澄百首 点三光院」。内題「詠百首和歌／沙門道澄」。道澄詠、

三条西実枝点。藤川百首題。奥書「右百者者元龜第三曆冬日於芸陽上田寺／五日之間綴之以招三条大納言実澄卿批語

者／也依之添遣一首之狂歌之処贈答有之奥／令書写訖真跡之一卷者就所望所以与／之矣／〔本二〕借中黄門〔中

院通勝〕之本〔道澄御自筆／巻物也〕書写之。③外題ナシ。内題「天正六年十月八日／三光院三条大納言点」。朝霞

等一〇題五〇首。④内題「天正九年三月十八日／三条大納言点」。遙尋花」等三題三二首。末尾ニ被加点和歌作者一

覧ヲ付ス。

142 〔勢州歌合二種〕

平間長雅判 〔江戸中期〕写

枳一帖 90 | 93

\* 列帖装。外題「勢州歌合」。細目①内題「元禄八年十一月十一日歌合」(久保倉盛僚・堤盛尹等詠、平間長雅判。三題一五番。奥「風観窓」)、②内題「十五番歌合」(中西信慶・山田大路元親等詠、平間長雅判。三題一五番。奥「風観窓」)。

印記「不言／乃舍」。

143 荷田在満家歌合(外題)

荷田蒼生子・荷田直子等詠、賀茂真淵判 寛政元年奥刊(〔江戸〕、万笈堂英遵)

大一冊 90 | 82

\* 内題「十二番歌合(寛保元年八月／於荷田在満家)」。清水浜臣序。「附録」トシテ「宝暦六年三月県居翁家歌会兼題当座出歌」(賀茂真淵序、寛政元年杉田春海跋)ヲ付ス。末尾ニ「万笈堂英遵蔵版目録」アリ。印記「不言／乃舍」。

144 〔天明三年五十番歌合〕

金子忠次等詠、白蓮社空阿判 〔江戸後期〕写

半一冊 90 | 76

\* 外題・内題「五十番歌合」。書名ノ年記ハ跋中ニ記述ニ拠ル。朱書アリ。

145 百番和歌吟会

加藤千蔭・宮下正岑詠、藤原某判 〔江戸中期〕刊

大一冊 90 | 81

\* 外題「千蔭／正岑」百番歌合」。印記「岩津／蔵書」。

146 〔小沢蘆庵判歌合三種〕

三卷 小沢蘆庵判 〔江戸後期〕写

大合本一冊 90 | 55

\* 外題「うたあはせ 三部合冊 完」。奥書ナシ。細目①「十番歌合」(春鷗丸・法眼行章等詠、小沢蘆庵判)、②「十八番歌合」(羽倉信美・小川布淑等詠、〔小沢蘆庵〕判)、③「寛政十二年十二月小坂殿十二番御歌合」(藤島宗順・岡本

保考等詠、伴蒿蹊判、小沢蘆庵再判)。

147 武者小路家五首歌合(外題)

武者小路実純<sup>まねじと</sup>主催、広幡前秀・正親町三条実同等詠、澄月判 〔江戸後期〕写

半飯一冊 90 | 71

\* 四〇番。成立ハ実純ガ位記ヲ返上シタ寛政四年二月一二日以前。末尾ニ作者一覽ヲ付ス。「判者翠雲軒澄月」トアリ。印記「岩津／蔵書」。

148 享和二年歌合(外題)

広幡前秀主催、徳大寺公迪・日野資矩等詠、慈延判 天保六年写(温田正行)

大一冊 90 | 72

\* 別名「大愚歌合」。扉題「享和二年歌合」。内題「享和二年壬戌季冬有歌合事」。巻首ニ作者一覽ヲ置ク。「判者吐屑庵慈延」トアリ。三〇番。本奥書「此本者吉田芳章師所持自筆之本也／于時文政二年卯十一月 神田朝興授与」。書写奥書「天

保六年未七月廿日已刻朝興大人所持之以芳章／大人自筆之本令書寫畢／温田源正行（朱印）。印記「不言／乃舍」。

149 [享和二年歌合] 広幡前秀主催、徳大寺公迪・日野資矩等詠、慈延判〔江戸後期〕写 大一冊 90 | 73

\*別名「大愚歌合」。外題「享和三年歌合」。内題「享和三年壬戌季冬有歌合事」。卷首二作者一覽ヲ置ク。「判者吐屑

庵慈延」トアリ。三〇番。末尾ニ富小路貞直ト日野資愛ノ往復書状ヲ付ス。印記「不言／乃舍」。

150 [稽古歌合・柿本影供歌合] 貞慎・敬忠等詠、某判〔江戸後期〕写 大四冊 90 | 92

\*外題「稽古歌合」。第三・四冊冒頭ニ「文化三寅年九月十八日／柿本影供歌合」トアリ。

151 六十四番歌結（外題） 山本昌敷・多久敬等詠、香川景樹判 文化十二年跋刊 大一冊 90 | 84

\*児山紀成序。香川景樹跋。印記「不言／乃舍」。

152 うすこほり（外題） 香川景樹判 天保五年刊（京、河南儀兵衛等四肆） 大一冊 90 | 69

\*嘯月禅尼序。香川景樹跋。東塙塾藏版。卷末ニ「香川景樹大人著述」ヲ付ス。

153 うすこほり（外題） 香川景樹判 〔天保五年〕刊・同六年印（京、河南儀兵衛等四肆） 大一冊 90 | 70

\*153二同版（天保六年印本）。

154 三十番歌合 永田憲章会主、専光寺有慶等詠、穂井田忠友判 文政七年写 半一冊 90 | 89

\*穂井田忠友奥（文政七年九月）。

155 幕朝年中行事歌合 三卷 北村季文詠、松平定信判、堀田正敦注 〔江戸後期〕写 半一冊 90 | 94

\*北村季文序・跋。

156 幕朝年中行事歌合註 北村季文詠、松平定信判、堀田正敦注、福井久藏撰輯 昭和一三年刊（東京、厚生閣） 中一冊 90 | 168

\*和装活版。秘籍大名文庫第一期。

157 道のしをり歌あはせ 三卷 津坂東陽編 天保六年刊（無刊記） 大三冊 90 | 95

\*外題「道の柴折歌合」。自序。平松正愷跋。津阪拙脩跋。刊年ハ見返シノ記述ニ拠ル。至楽窩藏梓。界線ハ朱摺リ。

印記「不言／乃舍」。

158 二百番和歌吟会 二卷 香川景樹・宮下正岑詠、藤原某判 〔天保一二年〕刊 大二冊 90 | 85

- 159 擬難陳三十番歌合 橘守部判 明治一五年写  
\*外題「桂園／正岑」二百番歌合」。印記「松宇文庫」(伊藤松宇)、「不言／乃舎」。
- 160 三十六番下蔭歌判詞 (外題) 橘守部判 (江戸後期)写 (橘守部)  
\*天保一〇年橘守部ノ本奥書アリ。印記「不言／乃舎」。
- 161 秋二百六拾番歌合 (外題) 二卷 加納諾平・西田直養等判 弘化四年刊 (江戸、丁子屋平兵衛等五肆)  
\*大和綴。外題右側ニ「橘守部大人自筆」トアリ。印記「不言／乃舎」。
- 162 七十二番歌合 (外題) 鈴木直磨判 (明治)写  
\*卷末ニ「嘉永四辛亥春呉竹舎判八拾番桜歌合作者連名」アリ。朱書、挟込アリ。
- 163 八拾番桜歌合 (見返し題) 岡本長之主催、鈴木直磨判 嘉永四年序刊
- 164 八拾番桜歌合 (見返し題) 岡本長之主催、鈴木直磨判 嘉永四年序刊
- 165 〔文久四年六十番歌合〕 加藤茂直主催、橋本直香・井上文雄判 (幕末)写  
\*内題「六十番歌合」。書名ノ年号ハ卷末ニヨル。印記「不言／乃舎」。
- 166 文月歌合三拾番 (外題) 久世久庭・笠因清雄等詠、某判 (幕末)写  
○
- 167 六十四番歌結 幸子・ゆき子等詠、阪正臣判 (明治)刊  
\*謄写版。印記「不言／乃舎」。
- 168 明治六十番歌合 (外題) 三条西季知等詠、近藤芳樹判 (明治)写  
\*奥ニ「明治十年ころものせしなり。判者は近藤芳樹翁なり」トアリ。印記「松浦／伯爵家／蔵書」(松浦詮)。
- 169 五十番歌合 横山由清・橘東世子判 (明治)写  
\*明治一一年序。印記「不言／乃舎」。
- 170 〔三／判〕四季歌合 (外題) 橘道守編 明治一五年刊 (東京、金花堂佐太郎)  
\*和装活版。序題「三判四季歌合」。印記「岩津／蔵書」。

171 五十四番歌合 遠山英一判 明治二八年刊（東京、しきしま発行所） 半一冊 90 | 180

\*和装活版。大和綴。

172 二十番歌合（外題） 松坂後鈴屋社中詠、本居豊穎判 〔明治〕写（久世安庭・本居豊穎） 半仮一冊 90 | 86

\*巻尾二本居豊穎署名、表紙ニ桜井祐吉ノ識語アリ。桜井識語ニ歌ハ久世安庭筆、判ハ豊穎筆、歌人ハ「後鈴屋社中（明治三十年頃）之人々」トアリ。

173 歌合「水鶏何方」 尚賢・ゆき子等詠 〔明治〕写（永賢） 中一冊 90 | 183

\*「蓼生園社中蔵」箋。判詞ハ朱書。

174 滝園社中歌合 黒田清綱判 大正三年刊 半一冊 90 | 182

\*和装活版。鳥谷部紹胤序。印記「岩津／蔵書」。

175 七十一番職人歌合 三卷 大三冊 90 | 219

\*群書類従本ノ複製。印記「岩津／蔵書」。

176 川はた歌合 成島司直撰 〔江戸後期〕写 半一冊 90 | 97

\*別名「成島司直職人歌合」。作者名ハ芋うり・茄子うり等。後補覆表紙。序文アリ。印記「岩津／蔵書」。

177 ひとまねうた合 〔江戸後期〕写 半一冊 90 | 97

\*職人歌合ノ類。作者名ハ野菜うり・肴うり等。後補覆表紙。序文アリ。印記「岩津／蔵書」。

178 山口職人七十一番歌合 藤原某判、阿川太良編 明治二五年刊（東京、庚寅新誌社） 中一冊 90 | 179

\*和装活版。大和綴。矢郷四郎跋。近藤棄誓志跋。印記「不言／乃舎」。

179 当世風俗五十番歌合 二卷 池辺義象詠・判、浅井黙語画 明治四〇年刊（京都、芸艸堂） 大二冊 90 | 181

\*和装石版。絵入。明治三八年跋。書袋アリ。

180 むしのうた合 大正一四年刊（東京、米山堂） 大一冊 90 | 208



- 181 うをのうた合  
\* 稀書複製会第四期第九回（古活字版丹緑本ノ複製）。印記「岩津／蔵書」。  
大正一五年刊（東京、米山堂）
- 182 とりの歌合  
\* 稀書複製会第四期第二一回（古活字版丹緑本ノ複製）。印記「岩津／蔵書」。  
昭和二年刊（東京、米山堂）
- 183 けだ物の歌合  
\* 稀書複製会第五期第一一回。印記「岩津／蔵書」。  
昭和三年刊（東京、米山堂）
- 184 虫歌合三十番・月歌合（外題） 二卷 小津久足・久世庭民等詠、某判 〔幕末〕写  
\* 稀書複製会第五期第一七回。印記「岩津／蔵書」。
- 185 三十番鳥歌合  
仲原（中原）章作 文政三年奥刊（無刊記）  
\* 浜雲軒跋（文政三年春）。
- 186 〔小鳥合〕  
長井裁之・吉岡鶴群等詠、本居豊穎・村田春野判 〔幕末〕写  
\* 書名ハ統一書名ニ拠ル。外題「和歌古写本」。安政四年成。
- 187 賀茂下流梅合（外題）  
田安宗武主催、昌子・賀茂真淵・加藤枝直等詠 文政八年刊（江戸、英文蔵等三肆）  
\* 千世序。明和二年春ノ「梅合」ニ因ンダ歌文集。卷末ニ「万笈堂英平吉和書目録」ヲ付ス。印記「不言／乃舍」。
- 188 大井河行幸和歌考証  
井上文雄著 文政二年序刊（刊記欠）  
\* 岸本由豆流序。伊庭至清跋。印記「不言／乃舍」。
- 189 〔享保千首〕  
〔江戸中期〕写  
\* 末尾ニ詠者一覽アリ（享保一八年時ノ年齢ヲ記ス）。印記「岩津／蔵書」。
- 190 〔詠草〕  
忍善・春明等詠 〔幕末〕写



(3) 俳文

197 宝蔵 元隣著 昭和七年刊(東京、明治書院) 半一冊 90 | 231

\*和装活版。絵人(吉田半兵衛風)。帝国図書館蔵本・竹冷文庫蔵本ノ翻印。伊藤松宇解題。

198 甲子吟行 芭蕉著 昭和七年刊(東京、明治書院) 半一冊 90 | 226

\*和装活版。大阪市藤田氏蔵本ノ影印。伊藤松宇解題。通行書名「野ざらし紀行」。

6 狂歌

199 狂歌初心抄 唐衣橋州著 寛政二年序刊(江戸、蔦屋重三郎) 中一冊 90 | 103

\*自序。酒月米人跋。末尾ニ「耕書堂蔵板狂歌書物目録」ヲ付ス。印記「岩津」。

200 <二十評ノ狂歌合> 崑玉集(外題) 苑園亭主人・琴樹園主人等撰 文政一〇年奥刊 半一冊 90 | 102

\*奥「文政十亥年十月廿六日於両国柳橋ノ河内屋楼上開卷」。春友亭蔵板。

7 古代歌謡

(1) 朗詠・今様

201 <和漢朗詠集大成> 二卷 浅茅氏書 〔元禄一二年〕刊・元禄一六年印(既康堂) 大二冊 90 | 105

\*絵入。目錄題・尾題「和漢朗詠集」。上欄ニ「瀟湘八景詩歌」等ヲ載セル。版元ノ既康堂ハ所在地未詳。元禄一二年刊本(京、金屋平兵衛版 \*未見)ノ後印(『明星大学日本文学科所蔵古典籍目録』二〇一二年)。

IV 音楽・演劇

1 浄瑠璃

(1) 古浄瑠璃

202 たかたち 大正七年刊(東京、米山堂) 横一冊 90 | 207

203 小袖そか  
\* 稀書複製会第一期第三回(寛永二年刊本ノ複製)。印記「不言ノ乃舎」。  
五段 昭和六年刊(東京、米山堂) 中一冊 90 | 217

(2) 金平浄瑠璃

204 うぢのひめきり  
\* 珍書大観金平本全集(明暦四年刊本ノ複製)。絵入。和泉太夫(桜井丹波掾)正本。細字一六行本。印記「不言ノ乃舎」。  
六段 岡重俊作 大正一五年刊(大阪、大阪毎日新聞社) A5判一冊 90 | 218

(3) 義太夫節

205 出世景清  
\* 一〇行三三丁本。外題「文久ノ新板」出世かけ清」。印記「岩津ノ蔵書」。  
五段 近松門左衛門作 [文久頃]刊(奥付欠) 中一冊 90 | 116

206 亭主八東山殿ノ上客八一休禪師ノ桜御殿五十三駅  
\* 内題下二「座本竹田栄蔵」トアリ。一〇行六五丁本。印記「岩津ノ蔵書」。  
\* 絵入。竹本綱太夫・住太夫正本。七行本。外題(後書)「はけんでん」。印記「岩津ノ蔵書」。  
明和八年刊(京、菱屋治兵衛・江戸、鱗形屋孫兵衛) 半一冊 90 | 118

207 [花魁答八総]  
\* 内題下二「座本竹田栄蔵」トアリ。一〇行六五丁本。印記「岩津ノ蔵書」。  
存後咲下 山田案山子作、長秀画 天保八年刊(京、平野屋茂兵衛等一〇肆) 半一冊 90 | 117

(4) 一中節

208 八百やお七  
\* 稀書複製会第六期第一八回(八文字屋八左衛門版ノ複製)。  
昭和五年刊(東京、米山堂) 半一冊 90 | 214

2 歌舞伎

(1) 狂言本

209 おしゆん伝兵衛十七年忌  
\* 稀書複製会第五期第一二回(八文字屋八左衛門版ノ複製)。印記「岩津ノ蔵書」。  
昭和二年刊(東京、米山堂) 半一冊 90 | 212

V 歴史

1 日本史

(1) 伝記

210 聖徳太子伝私記 二卷 顕真著 昭和四年刊(東京、奈良美術研究会) 半一冊 90 | 233

\*和装。謄写版。会津八一附言。印記「岩津ノ蔵書」。

211 聿修録 二卷 藤堂高允編 文政元年序刊 大二冊 90 | 131

\*藤堂高虎ノ伝記。徳川斉脩序。自序。沃朴涛跋。津阪東陽跋。卷末ニ「聿脩録援摺書目」ヲ付ス。印記「物集ノ文庫」(物集高見)。

212 本居年譜(外題) 明治三六年刊(東京、吉川半七) 半一冊 90 | 198

\*和装活版。本居宣長・春庭・大平・内遠ノ肖像画アリ。「鈴屋翁略年譜」(伴信友)、「鈴屋翁年譜附録」(本居五鈴)、「鈴屋門人録」(渡辺重兄)等所収。

(2) 史料

① 書簡

213 本居宣長翁書簡集 昭和四五年刊(本居宣長自筆稿本刊行会) 大一冊 90 | 227

\*和装活版。大和綴。宣長書簡ノ影印。

② 外国関係

214 海外異伝 斎藤拙堂著 嘉永三年刊(大坂、河内屋喜兵衛・江戸、山城屋佐兵衛) 半一冊 90 | 137

\*李門祐相序。板倉勝明跋。

215 海外異伝 斎藤拙堂著 嘉永三年刊(大坂、河内屋喜兵衛・江戸、山城屋佐兵衛) 半一冊 90 | 138

\*214 同版。

VI 地理

1 日本地誌

(1) 地方誌

216 訂正増補／勢陽五鈴遺響 八〇卷 安岡親毅著 明治三六年刊(三重津、明有舎)

中二帙一冊 90 | 193

\*和装活版。印記「不言／乃舎」。

VII 政治・法制 附故実

1 典札・儀式

(1) 建物・調度

217 故実叢書／大内裏図考証 存卷七(一三) 裏松固禪ほか著 明治三五年刊(東京、吉川半七)

半七冊 90 | 192

\*和装活版。故実叢書第二輯。印記「不言／乃舎」。

VIII 教育

1 教訓

218 士道要論 斎藤拙堂著 嘉永三年刊(大坂、河内屋喜兵衛・江戸、山城屋佐兵衛)

半一冊 90 | 136

\*自序。自跋。板倉勝明跋。印記「潜龍閣」(徳川斉昭)、「不言／乃舎」。

219 士道要論 斎藤拙堂著 嘉永三年刊(大坂、河内屋喜兵衛・江戸、山城屋佐兵衛)

半一冊 90 | 135

\*218二同版。印記「不言／乃舎」。

2 教科書

(1) 往来物

220 庭訓往来 天明元年刊(江戸、鶴屋喜右衛門)

大一冊 90 | 126

\*絵入。外題「新刊改正／平仮名附」庭訓往来倭文選。卷末二「片仮名伊呂波本字」「四季十二月異名」ヲ付ス。印記「岩

津／蔵書」。

221 女要珠文庫（外題） 〔享保六年〕刊〔刊記欠〕 大一冊 90 | 127

\* 絵入（一部手彩色）。細目「伊勢道中記」「女実語教」「短冊百人一首」「湖月女文章」「女用文章」「身持行儀のおしへ」「女言葉つかゑ」「幕縫様の事並図」「長生養性訓」「風流文字人形」「当世櫛ひいなかた」「当世もやうかんざし」「男女相生の歌」「六体いろは」。

222 おくれし雁（外題） 藤井高尚著 文化八年刊（大坂、河内屋儀助等三肆） 大一冊 90 | 125

\* 林秋告序。京都菱屋友七製本。卷末ニ出版広告アリ。印記「不言／乃舍」。

Ⅸ 医学

1 漢方

（1）本草

223 和歌食物本草 二卷 〔江戸前期〕写 大合一冊 90 | 44

\* 印記「岩津／蔵書」。

X 産業

1 農業

224 救荒事宜 斎藤拙堂著 〔文久元年〕刊・慶応二年増修（大垣、平流軒利兵衛） 半一冊 90 | 133

\* 外題「増補救荒事宜」。小原鉄心序。自序。自跋。野村藤陰跋。

225 救荒事宜 斎藤拙堂著 〔文久元年〕刊・慶応二年増修（大垣、平流軒利兵衛） 半一冊 90 | 134

\* 224ニ同版。

XI 芸術

1 総記

226 〈形似／神韻〉触背美学

中川重麗著 明治四四年刊（東京、博文館）

菊判一冊 90 | 194

\*洋装活版。

227 無声詩論

菊池秋香著、梅沢和軒・益頭峻南補 明治四四年刊（東京、無声書院）

中一冊 90 | 201

\*和装活版。

2 書画

(1) 絵画

① 絵本

228 増補絵本宝鑑

三卷 〔橘宗重〕作、〔長谷川等雲〕画 〔貞享五年〕刊・〔江戸中期〕増修（無刊記）

半合二冊 90 | 119

\*絵入。無名氏序。印記「岩津」「岩津／蔵書」。

229 絵本四季歌合

存卷上 〔江戸中期〕刊

半一冊 90 | 120

\*絵入。禿帚子序。

230 絵本忠経

高井蘭山著、葛飾北斎画 天保五年刊（江戸、須原屋新兵衛）

半一冊 90 | 121

\*絵入（口絵ノミ彩色摺）。高井蘭山題言。杉田金助刻。卷末ニ『絵本唐詩選』等三点ノ広告ヲ付ス。印記「岩津／蔵書」。

XII 諸芸

1 遊戯

231 貝合伝（外題）

祝田政宥・及川広之編 文政三年写（栗山直治）

半一冊 90 | 123

\*図入。奥書「文政三辰年／五月下旬写之／栗山駒之助／直治（花押）」。

232 〔弁慶堂引札〕

〔幕末〕刊（京、弁慶堂）

一枚 90 | 154

\*青墨套印ノ一枚摺リ。書袋（外題「しみのすみか」）アリ。「絵草紙所／京都五條橋通寺町西へ入丁／おろし小うり／



233 蒔絵伽羅笏「物かは」 弁慶堂。  
武居巧著 昭和一八年刊（東京、陽明文庫） B5判一冊 90 | 196

\*陽明選書第二輯。陽明文庫藏蒔絵香合「物かは」ノ写真及び解説。

【準漢籍の部】

I 叢書

234 螢雪軒叢書 一〇卷 近藤元粹評訂 明治四一〜大正四年刊（東京、青木嵩山堂） 中一〇冊 90 | 200

\*和装活版。印記「不言ノ乃舎」。

【漢籍の部】

I 子部

(I) 小説家類

235 校訂ノ遊仙窟並ニ索引 三ヶ尻浩著 昭和一一年刊（京都、三ヶ尻浩） 菊判一冊 90 | 204

\*謄写版。非売品。

II 集部

(I) 別集類

236 高青邱詩醇 七卷 明・青邱詠、斎藤拙堂撰、梁公函・菊池士固校 嘉永三年刊・（明治）印（三重、豊住伊兵衛・大坂、豊住幾之助）半四冊 90 | 145

\*刊年ハ見返シ（嘉永三年新鐫）ニ拠ル。斎藤拙堂序。斎藤拙堂重序。卷首ニ「明史本伝」ヲ付ス。三重県蔵版。

(2) 総集類

237 文選正文 一二卷・序目 梁・蕭統撰、服部南郭句読・片山兼山点 天明四年刊(京、風月荘左衛門) 大一三冊 90 | 153

\*印記「不言ノ乃舎」。

238 文選詩講義 声教社同人編 昭和一年刊(神奈川逗子、声教社) 半一冊 90 | 203

\*和装活版。大和綴。

239 絶句類選 二卷 津阪東陽編、斎藤拙堂評 文久二年刊(京、風月庄左衛門等七肆) 半五冊 90 | 140

\*外題「絶句類選評本」。

(3) 詩文評類

240 文心雕龍 一〇卷 南斉・劉勰撰・黄叔琳注・紀昀評 民国二二年刊(上海、掃葉山房) 中四冊 90 | 199

\*線装石版。

書名索引

あ

書修録

一、索引は、目録所載の書名を対象とし、その掲出位置を通し番号で示した。	秋十五番歌合	3	稲掛大平かもとへおくれる書	83
一、標目として立項される書名を本項目とした。*以下の記事に見える書のうち、細目は本項目とし、整理書名や統一書名等は「見よ項目」とした。	秋二百六拾番歌合	161	石清水若宮歌合	126
一、冠称(角書)が存する書名は、そのある形を本項目とし、( )に括って前置した。また、これを省いた形の書名を「見よ項目」とした。	曦太平記	17	院御歌合(宝治二年)	3
一、排列は、書名の通例の読み方により、現代仮名遣いの五十音別に拠った。	飛鳥井家之説	67	う	20
一、同一書名の排列は、かなによるものを先に、漢字によるものを後にした。	按察使親長卿家歌合	3	雨月物語新釈	152
一、異なる書が合写・合綴されている場合は、それぞれを立項した。	姉小路式 ↓歌道秘書蔵録	66	うすこほり	153
一、歌合名を索引に掲げる際、適宜開催年月等を記す割書は省き、判者等を( )に括って補記したところがある。	姉小路殿てにおは	66	歌合(永仁元年当座)	3
一、索引は岡崎真紀子と中西智子が作成した。	い	74	歌合(嘉元三年三月)	3
	家隆口伝	3	歌合(乾元二年五月四日)	3
	郁芳門院根合	3	歌合「水鶏何方」	173
	十六夜日記 ↓標註十六夜日記読本	126	うたあはせ 三部合冊 完	146
	伊勢新名所絵歌合	126	歌合 ↓慈照院殿御自歌合	3
	伊勢新名所絵歌合	126	歌合(正安四年六月十一日当座)	3
	↓新名所絵歌合、新名所歌合	221	歌合(貞永元年八月十五夜)	126
	伊勢道中記	221	歌合(笑福亭福松口演)	26
	伊勢名所拾遺集 ↓新編伊勢名所拾遺集	7	歌合 内裏(康正元年十二月廿七日)	126
	伊勢物語	7	歌合 道堅法師歌也	141
	伊勢物語 ↓(新板)伊勢物語	118	歌合 道賢法師自歌(判詞道遙院)	141
	石上稿	25	歌合時代類聚目録	55
	(一読三嘆) 当世書生氣質	14	歌合時代類聚目録等目録四種	55
	一休骸骨	14	歌合判語摘要	127

歌合判語摘要鈔	127	繪本宝鑑 ↓ 増補繪本宝鑑		懷風藻新釈	44
歌合部類	126	遠島御歌合	3	歌会の作法	96
右大臣家歌合 (治承三年十月十八日)	126	円融院扇合	3	歌学会歌範評論	92
歌絵合	129	お		歌学書 ↓ 題心持略用	
歌袋	80	近江御息所歌合	126	歌学提要 ↓ 歌林要路	
うちのひめきり	204	大井河行幸和歌考証	188	歌格類選	90
浦のしほ貝	120	大平かかへりことに又こたへたる書	83	香川景樹大人熊谷直好大人 / 遺文	33
うをのうた合	181	大八洲学会詠歌邪正論	93	柿本影供歌合	150
え		鋸屑譚	27	家集類目録	55
詠歌一体 ↓ 八雲口伝		小倉の山ふみ ↓ (百人一首) 小倉の山ふみ		荷田在満家歌合	143
詠歌眼目	89	おくれし雁	222	甲子吟行	198
瑩玉集	74	小沢蘆庵判歌合三種	146	歌道秘書蔵録	66
影供歌合 (建長三年九月十三夜)	3	おしゆん伝兵衛十七年忌	209	歌評論弁	91
永承六年内裏根合 ↓ 後冷泉院根合		小野宮右衛門督家歌合	3	龜山殿五首御歌合	3
詠草	190	御室撰歌合	126	賀茂下流梅合	187
詠百首和歌 沙門道澄	141	女言葉つかぬ	221	高陽院七首歌合	126
永福門院歌合	3	女実語教	221	高陽院七首歌合 ↓ 高陽院七首歌合	
永祿六年十五番歌合 ↓ 秋十五番歌合		女用文章	221	かりの行かひ	35
悦目抄	61	か		歌林	57
繪本黄鳥墳 ↓ (長柄長者) 繪本黄鳥墳		貝合伝	231	歌林要路	88
繪本四季歌合	229	海外異伝	214	(軽口) わかゑびす	24
繪本忠経	230	がいこつ	14	歌論往復書	83

歌論書諸抄	67	近世歌人略系	56	こ	74
歌話	91	近代秀歌 ↓定家和歌式		耕雲口伝	
河合社歌合	3	近葉菅根集	111	好色一代男	15
歌話集	91	近來風体抄	74	高青邱詩醇	236
川はた歌合	176	く		校正訳注源氏物語評釈	9
勸学院物語	13	愚問賢注	64	校訂遊仙窟並二索引	235
寛政十二年十二月小坂殿十二番御歌合	146	群書類従	3	寄居歌談	87
関白内大臣家歌合	3	け		光明峯寺入道撰政家歌合	126
寛平御時菊合 ↓寛平菊合		溪雲問答	77	光明峯寺入道撰政家名所月歌合	
寛平菊合	3	(桂園正岑) 二百番歌合	158	↓歌合(貞永元年八月十五夜)	
き		稽古歌合	150	古今切紙口伝	67
擬難陳三十番歌合	159	(形似神韻) 触背美学	226	古今秘註抄	101
救荒事宜	224	螢雪軒叢書	234	古今和歌集	100
九十三番歌結	91	桂明抄	74	古今和歌集一卷	67
狂歌初心抄	199	桂林一枝	5	古今和歌集正義	103
享保千首	189	外宮北御門歌合	3	古今和歌集新釈	104
享和二年歌合	148	けだ物の歌合	183	五元集	196
享和二年壬戌季冬有歌合事	149	源氏物語評釈	9	湖月女文章	221
玉葉和歌集	105	建春門院北面歌合	126	古今奇談繁野話	19
玉蘭集	47	顯註密勘	101	故実叢書/大内裏図考証	217
御集類目錄	55	建保二年歌合 八月十六日	126	五十番歌合(天明三年五十番歌合)	144
清輔雜談集	59	元禄八年十一月十一日歌合	142	五十番歌合(二条良基主催)	138

五十番歌合〔横山由清・橘東世子判〕	169	三種歌合 ↓ (真蹟臨本) 三種歌合		士道要論	218
五十四番歌合	171	三十番歌合〔穗井田忠友判〕	154	十五首乱歌合 ↓ 建保二年歌合 八月十六日	219
五十四番詩歌合	126	三十番歌合〔霜月十五日〕	126	十五番歌合〔平間長雅判〕	142
こたへ 稲掛大平	83	三十番鳥歌合	185	十五夜歌合〔文永二年八月〕	3
小袖そか	203	三十六番歌合〔文龜三年六月十四日〕	3	十五夜歌合〔永仁五年八月十五日〕	3
国歌評釈	113	三十六番下蔭歌判詞	160	十五夜三首歌合〔永祿六年八月〕	3
後鳥羽院御口伝	74	(三判) 四季歌合	170	十四家集評論 ↓ (東京大家) 十四家集評論	
小鳥合	186	三判四季歌合	170	十四家集評論弁 ↓ (東京大家) 十四家集評	
五百番歌合	3	し		論弁	
後陽成院御歌合	3	詩歌合〔文明十五年正月十三日〕	3	十二月文人画詩	43
古来風躰抄	60	詩歌合〔文明十四年九月二十八日〕	3	十二番歌合〔寛保元年八月／於荷田在満家〕	
後冷泉院根合	3	詞花懸露集	130	十八番歌合	143
崑玉集 ↓ (二十評狂歌合) 崑玉集		四季歌合 ↓ 絵本四季歌合、(三判) 四季歌合		十番歌合	146
さ		繁野話 ↓ 古今奇談繁野話		出世景清	205
西行上人談抄	91	自讃歌註	108	春樹頭秘増抄	72
彩色歌相撲 ↓ (忠見兼盛) 彩色歌相撲		四十二のものあらそひ	12	正応二年三十番歌合	3
ささ草	84	四十二物諍考証	12	將軍家歌合〔文明十四年閏七月〕	3
桜御殿五十三駅 ↓ (亭主八東山殿上客		慈照院殿御自歌合	140	將軍家歌合〔文明十四年六月十日〕	3
ハ一休禪師) 桜御殿五十三駅		時代不同歌合	126	將軍家三十番歌合	126
佐々木弘綱解／竹取物語俚言解乾	6	七十一番職人歌合	175	聖護院道澄百首 点三光院	141
ささめこと	194	七十二番歌合	162	正直はなし	23
左大將家百首歌合	132	耳底記	70		



たから合の記	22	て	東三条院瞿麦合	3
宝蔵	197	定家家隆両卿撰歌合 ↓撰五十首歌合	当世櫛ひいなかた	221
滝園社中歌合	174	定家和歌式(近代秀歌)	当世書生氣質	3
竹取物語俚言解	6	庭訓往来	↓(一読三嘆) 当世書生氣質	
(忠見兼盛) 彩色歌相撲	18	(亭主八東山殿上客八一休禪師) 桜御殿	当世風俗五十番歌合	179
七夕歌合	126	五十三駅	当世もやうかんざし	221
為兼卿和歌抄	62	訂正増補/勢陽五鈴遺響	道澄百首	141
丹後守公基朝臣歌合 ↓範永宅歌合		鉄研斎輜軒書目	とりの歌合	182
短冊百人一首	221	鉄研余滴 甲集	な	
ち		天正九年三月十八日/三条大納言点	内大臣家歌合(元永元年十月)	3
(千蔭正岑) 百番歌合	145	天正六年十月八日/三光院三条大納言点	内大臣家歌合(元永二年七月)	3
親長卿家歌合(文明五年十一月七日)	126	殿中十五番御歌合	中院内府通茂公口伝	77
千鳥のあと ↓翻刻千鳥のあと		天徳四年内裏歌合	(長柄長者) 絵本黄鳥墳	21
中宮亮重家朝臣家歌合	126	↓内裏歌合(天徳四年三月晦日)	謎歌合 ↓小野宮右衛門督家歌合	
長歌軌範(国文)	97	天明三年五十番歌合	業平全集 ↓評釈業平全集	
長生養性訓	221	と	南朝五百番歌合 ↓五百番歌合	
つ		(東京大家) 十四家集評論	男女相生の歌	221
月歌合	184	(東京大家) 十四家集評論弁	に	
月瀬記勝	48	同家歌合	新学異見	85
月なみふみ合	49	同家歌合 ↓小野宮右衛門督家歌合	新玉津島社歌合	3
津島神社献詠集 第十一輯・十二輯	50	道堅自歌合 ↓歌合 道堅法師歌也	二十番歌合	126
経平大式家歌合	51	道堅自歌合等四種	(二十評狂歌合) 崑玉集	172
	36			200
	37			
	112			
	126			





幕縫様の事並図	221	も	六十番歌合	165
またぬ青葉	30		六十番詩歌合	139
万葉和歌集校異	107		六十四番歌結〔香川景樹判〕	151
み			六十四番歌結〔阪正臣判〕	167
三井寺新羅社歌合	126		六帖詠草	119
みくるまのあと	31		六体いろは	221
道のしをり歌あはせ	157		六百番歌合	133
道の柴折歌合	157	や	わ	127
みちのつと	32			132
水無瀬殿恋十五首歌合	126			133
源順馬名合	128			78
身持行儀のおしへ	221			82
宮川歌合	131	ゆ		74
宮川歌合続三十六番	131			63
民部卿家歌合	3			68
む				74
虫歌合三十番	184			75
むしのうた合	180	よ		186
武者小路家五首歌合	147			186
無声詩論	227	り		223
め				
明治六十番歌合	168	ろ		74
				74
				76
				223
				126
				186
				75
				68
				74
				63
				82
				78
				133
				221
				119
				167
				151
				139
				165

倭歌之道						64
和歌秘伝書					↓和歌口伝覚書	
若宮社歌合					〔建久二年三月三日〕	3
和歌八重垣						73
和歌用意						74
和漢朗詠集						201
和漢朗詠集大成						201
別雷社歌合						126

